

簡易株式交換に関する補助資料

2019年12月18日



株式会社 プロルート丸光

株式交換の概要

- ✓ 総合衣料卸売事業を主軸に展開する「プロルート丸光」が、新規事業として、コンサートグッズ製作事業に参入するにあたり、高い知名度を有する複数のアーティストのコンサートグッズの商品化窓口機能を受託している「Sanko Advance」と株式交換による資本業務提携を行い、互いの企業価値向上を目指す

株式交換 の背景

市場環境

- ✓ コン서트グッズ市場は今後も成長が見込まれ、現在の約800億円程度の市場規模が2024年には900億円以上にまで成長する
- ✓ また、コンサート会場の増設や、近年の音楽アーティストとアパレル業界のコラボレーションの潮流など、コンサートグッズ市場の成長を後押しする要因が複数存在する

Sanko Advanceの事業

- ✓ 事業ドメインであるコンサートグッズ市場の成長性がこの先のSanko Advanceの安定成長に寄与する

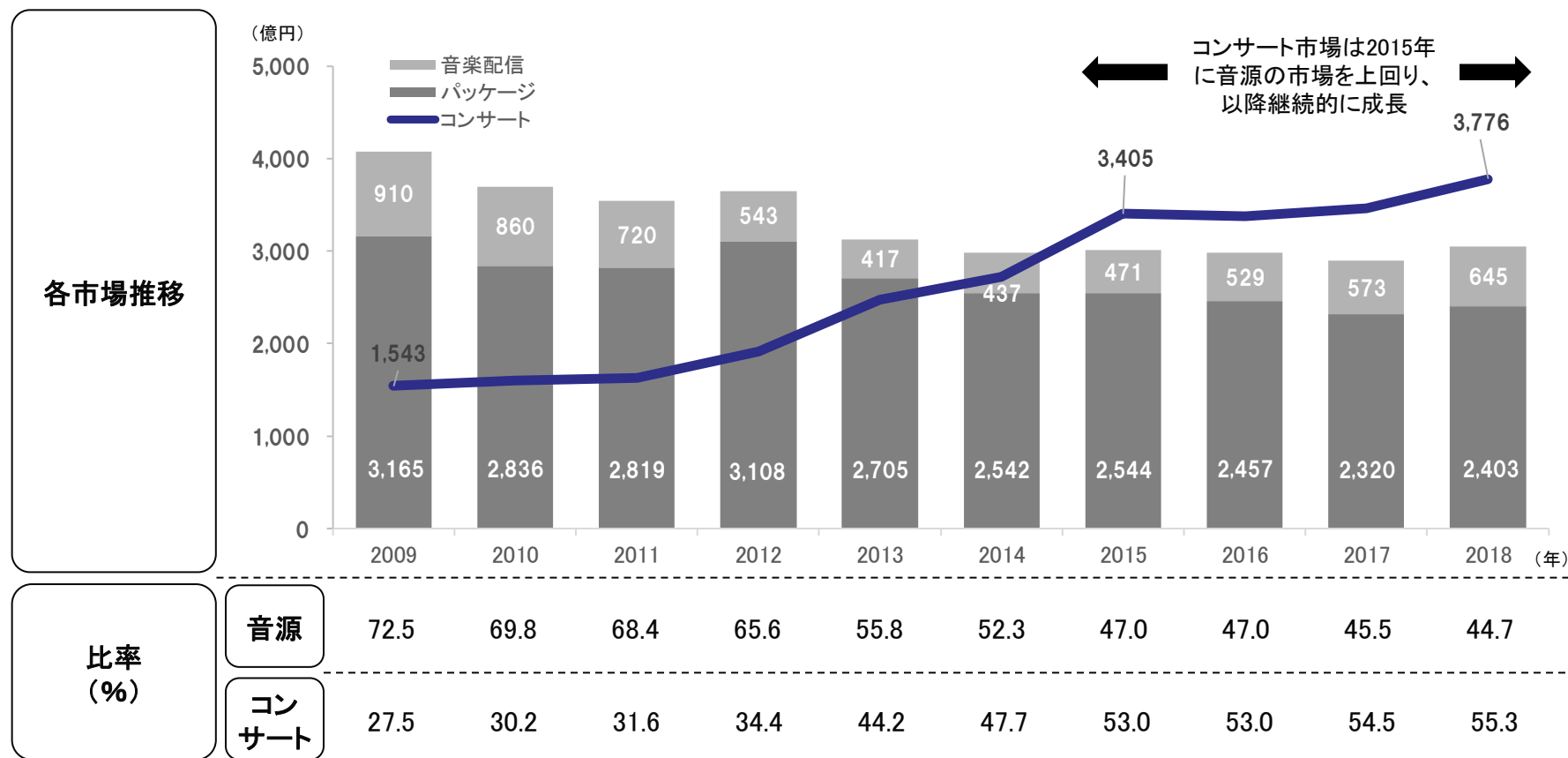
期待されるシナジー

- ✓ プロルート丸光・Sanko Advanceの連携を通じて、コンサートグッズ市場におけるプレゼンスの拡大（Sanko Advanceを起点とした他アーティストの著作権管理業務の獲得、Sanko Advance以外の著作権管理会社からのグッズ製造依頼の受注）が期待できる

音楽市場の変化 _ 総市場の推移

音源の販売からコンサートなどの興行に市場の中心がシフトしつつあり、アーティストは「コンサートで稼ぐ」ための体制構築を求められている

音楽市場の内訳(2009年～2018年) *1



*1 資料: 一般財団法人日本レコード業界「日本のレコード産業2019」および、ぴあ総研「ぴあ総研が2018年の調査結果(速報値)を公表」より(株)電通コンサルティングで分析・編集

コンサートグッズ市場の推移 (予測)

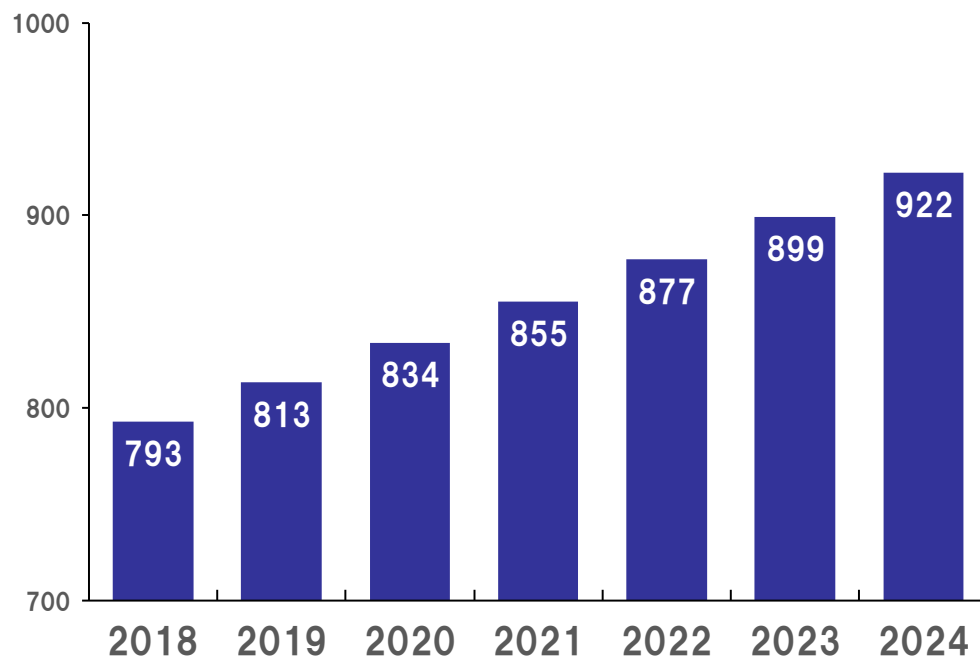
コンサートグッズ市場はこの先も拡大傾向が続くと想定され、2024年には900億円を超える規模となる

算出の考え方

- 「コンサートチケットの売上」
×「チケット/グッズ売上比」
から算出という考え方を基
に、(株)電通コンサルティングにて試算

コンサートグッズ市場推移予測(2018年～2024年)

単位: 億円



コンサート会場の建設予定

2020年以降も10,000人規模のアリーナを含むコンサート会場の新規開業が多数予定されており、コンサート開催の需要を充足する環境がさらに整うと想定される(2019年12月18日時点)

開業時期	会場名(仮称)	場所	収容人数規模
2020年4月頃	TACHIKAWA STAGE GARDEN	立川	3,000人
2020年春	ぴあアリーナMM	横浜	10,000人
2020年夏	Zepp Haneda	羽田	3,000人
2023年秋	Kアリーナ	横浜	20,000人

免責事項

本資料に記載されている将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報を基にした当社の判断及び仮定に基づいて作成されたものであり、その正確性や実現を保証するものではありません。

予測にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の数値等は、本資料記載の内容と異なる場合があります。